

令和3年12月13日

丹波篠山市長 酒井 隆明 様

篠山再生計画推進委員会

委員長 井本 季



篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等にかかる意見・提案について

篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等について、令和3年11月4日に篠山再生計画推進委員会を開催し審議のうえ、取りまとめた意見・提案を別紙のとおり提出いたします。

**篠山再生計画（行財政改革編）の進捗状況等について  
の篠山再生計画推進委員会の意見・提案**

【令和3年度】

取組項目等	意見・提案
<p>公共施設等総合管理計画と一体的な取り組みについて</p>	<p>篠山再生計画の区切り後、あらたに策定する財政計画は、大きな課題である公共施設と道路橋梁や上下水道などインフラ施設の老朽化対策に対応できるなど、長期的に持続可能で将来の安定安心を築くための財政計画である必要がある。</p> <p>幸いにして公共施設等総合管理計画が更新時期にあるので、十分に調整を図り新たな財政計画と公共施設等総合管理計画のどちらも実効的なものとし一体的に取り組めるようにしてもらいたい。</p>
<p>収支見通しを策定し財政悪化の許容範囲見極めについて</p>	<p>先の収支見通しでは収支均衡後、令和3年度から令和5年度まで収支均衡が崩れるが、その後は再び均衡することとされている。次の収支均衡後は収支均衡を崩さぬことが重要と考えられるが、一方で、以前と比べ財政運営が安定基調に入ったと考えられるため、財政健全化だけではなく、老朽化対策やまちづくりに必要な投資による財政悪化を悪化と捉えずバランスをとりながら積極支出すべきと考える。</p> <p>そのためには、10年程度先までの財政運営を基本に収支見通しを作成し、定期的な見直しや検討を行い、投資による財政悪化の許容範囲を見極めて財政運営を進めてもらいたい。</p>
<p>人口減少時代における投資について</p>	<p>今後の大きな投資として市の施設の老朽化対策が想定されるが、老朽化対策とならび人口減少対策も大きな課題である。市は、自然豊かな丹波篠山市の魅力を外内に発信することや企業誘致、駅や拠点となる観光施設など有効性の高い資産の活用に必要な投資をされている。これら、ハードとソフト両面からの投資が人口減少を鈍化させたり関係人口を増加させたりする取り組みにつながると考える。</p> <p>しかし、全国的にも人口減少が進むことから、これまで以上に投資効果をもとに事業を選択し課題に対処してもらいたい。</p>